

「互いにかかわりあおうとする人間関係づくり」

《学級経営・授業の中で考えて実践していくべきこと》

- ① 学級内のルールとマナーの徹底
＜話す・聞くのルール＞
＜言葉遣い、はなしかた、接し方の指導・どうしようカードの工夫＞
- ② 互いに反応したり、感じたりすることを促す
＜共感する経験&相手がいることを意識する経験＞
＜教師の率先した反応→子どものみで反応できるように＞
- ③ 一緒にいて楽しいと思える関係作り
＜遊ぶ・ゲーム・学年・異学年交流など＞
- ④ 一緒にいて安心だと思える関係作り～心が温くなる経験を～
＜あったか言葉・名前をよんであいさつ・ほめる・思いやり行動など＞
- ⑤ お互いを前向きに理解する関係作り
＜互いの理解を促す教師の助言・いいところ見つけ・係の表彰
スピーチ活動など＞
- ⑥ 伝え合う学級なんだ・助け合う学級なんだという文化を作る
＜学級目標や普段の指導で＞
- ⑦ 交流して・一緒に活動して良かったと思える場作り
交流することで・一緒に活動することで
 乗り越えられた よりよい物を作り出せた
 分かった 発信したことが友だちに認められた
 自分が変化した
＜グループ・ペア・意図指名・全員の意見を聞く＞
- ⑧ かかわらなければ解決できない問題の設定をすること
- ⑨ 教師が、子どもの声と子どもの声をつなげる→⑦へ